

事務事業名		下水道使用料徴収事務参画事業			会計	下水道				
					事業種別	経常	開始	20	終了	24
課等名		水道業務課		係等名						
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
		施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	公共・特環下水道使用料			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	下水道施設の維持管理費及び資本費のうち、使用料対象となる費用の確保				使用料調定額(千円)			1677592	
	向上させたい上位施策の成果指標	下水道普及率(%)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	下水道使用料収納率(%)			99.6	99.6	99.6	99.6		
	定性目標									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の事業を従来の手法により手直しをするのではなく、現行の徴収業務の定型的な部分を民間の専門業者に外部委託する事により、サービスの充実、経営効率の向上を図る。</li> <li>・下水道使用料の徴収業務を民間委託(平成20年10月～)し、収納の効率化を進める。</li> </ul>									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 使用料徴収業務の民間委託				1 業務委託額			1 50,073千円		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		49,129	50,073	50,073	49,849	(そ)使用料				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		49,129	50,073	50,073	49,849					
一般財源										
人件費計(千円)②		0		1,681						
正規職員所要時間				470						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		49,129	50,073	51,754	49,849					
事業内容・目標達成状況の振り返り		<ul style="list-style-type: none"> <li>・H23実績を下回らない収納率が確保できた。</li> <li>・水道料金・下水道使用料をあわせた徴収事務として、事業No.16-10「上下水道料金等徴収業務民間委託事業」へ移行</li> </ul>								
改革改善の考え方	①問題点	事務事業の内容重複								
	②改革提案	事業No.16-10「上下水道料金等徴収業務民間委託事業」へ移行								